



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆

希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和5年12月4日 NO. 8

042-541-2940

創立44年目（昭和55年開校）

輝くとき

校長 前川 法彦

新聞記事を読んでいて、いのちの大切さを考える機会がありました。

今年の8月、白血病が再発し余命わずかと知りながら、警察官の使命を全うしようとしていた方のお話です。

高校卒業後に警察学校に入校してトップクラスの成績で卒業しました。しかし、20歳のときに急性の白血病になり治療しましたが22歳で再発。再度治療して職務に復帰していました。病気のため目標にしていた交通機動隊の白バイ隊員をあきらまなければならなかったけれども、「交通警察官としてできることはまだまだある」と前向きで、誠実な仕事ぶり与人柄で信頼がととても厚かったということでした。

しかし6月末、医師から再発を告げられ、以前から「3回目は治療法がない」と聞かされていて、残された時間が少ない中、自らの意志でぎりぎりまで警察官として立ち続けていました。本人は、亡くなる数時間前まで周囲への感謝を口にしていたそうです。

負けず嫌いな性格だった彼が残した言葉で「決して病気に負けたとは思っていない。2勝1敗だけど、残された時間をやりたいように過ごせるだけ幸せだと思う」。25歳の彼が伝えたかったのは、何があっても生き抜く力強さだったと記事はまとめていました。

12月になり、あと3か月もすると今年度も終わりになります。4月からのことを振り返ってみましょう。大きなこと・小さなこと、自信をもってやりきった何かがきっとあると思います。取組んでいることや達成できていることも、人それぞれ差があり異なるのは自然なことですが、あきらめず積み重ねていることで、4月から成長している自分を感じることができるはずです。

「人は花 置かれたところで咲きなさい」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これから福中生が、どのような花を咲かせていくのか。とても楽しみです。

